

## 令和3年度 第5回八潮市公共施設マネジメント推進委員会

開催日時	令和4年3月23日(水) 午後2時 00 分から 午後3時 15 分まで	開催場所	委員会室
出席者 〔敬称略〕	〔1号委員〕松本暢子、藤井さやか 〔2号委員〕會田孝雄、小川由利子、豊田忠正、宮本安江		
欠席者 〔敬称略〕	—	傍聴者数	0人
審議内容及 び審議結果 の概要	<p>【令和3年度 第5回八潮市公共施設マネジメント推進委員会】</p> <p>1 開 会</p> <p>2 議 事</p> <p style="padding-left: 20px;">(1) 第4回推進委員会の議事録について</p> <p style="padding-left: 20px;">(2) 八潮市公共施設マネジメントアクションプラン【見直し版】 (素案)に関するパブリックコメントの結果について</p> <p style="padding-left: 20px;">(3) 諮問に対する答申について</p> <p>3 報 告</p> <p style="padding-left: 20px;">(1)八幡図書館・公民館の大規模改修について</p> <p>4 答 申</p> <p>5 閉 会</p>		
提供資料	<p>&lt;配布資料一覧&gt;</p> <p style="padding-left: 20px;">第4回推進委員会議事録</p> <p style="padding-left: 20px;">参考資料:諮問書</p> <p style="padding-left: 20px;">資料1:八潮市公共施設マネジメントアクションプラン【見直し版】素案に関するパブリックコメントの実施結果と対応について</p> <p style="padding-left: 20px;">資料2-1:今年度会議における答申に係る付帯意見のキーワード</p> <p style="padding-left: 20px;">資料2-2:答申書(案)</p> <p style="padding-left: 20px;">資料3:八幡図書館・公民館の内覧会資料</p> <p>&lt;&lt;ファイル資料&gt;&gt;</p> <p style="padding-left: 20px;">① 八潮市公共施設マネジメント推進委員会 委員名簿</p> <p style="padding-left: 20px;">② 八潮市公共施設マネジメント推進委員会規則</p> <p style="padding-left: 20px;">③ 八潮市附属機関の会議の公開に関する規則</p> <p style="padding-left: 20px;">④ 八潮市公共施設マネジメント白書・八潮市公共施設マネジメント基本方針概要版</p> <p style="padding-left: 20px;">⑤ 八潮市公共施設マネジメント基本計画概要版</p> <p style="padding-left: 20px;">⑥ 八潮市公共施設マネジメントアクションプラン概要版</p> <p style="padding-left: 20px;">⑦ 八潮市公共施設マネジメントアクションプラン見直し版(素案)</p>		

## 《議事詳細》

### 1 開 会

### 2 議 事

#### (1)第4回推進委員会の議事録について

議事録については、1月に事前に確認いただき、修正もなかったことから、氏名を伏せ公開することについて、了承を得た。

#### (2)八潮市公共施設マネジメントアクションプラン【見直し版】(素案)に関するパブリックコメントの結果について

アクションプランの見直し版(素案)は、2月10日から3月11日までにパブリックコメントを実施し、1名から5件の意見が提出された。提出意見の概要とその対応について説明し、意見としては実施段階で検討するものが多かったため、見直し版(素案)の修正はせず、原案のとおりとしたい旨説明し、承認を得た。

補足として、リーディングプロジェクトの文化スポーツセンター再整備・質向上プロジェクトについては、素案において「～文化スポーツセンターの利用停止に向け、現施設の機能を代替施設に移転することについて検討」としていたが、3月上旬に行った消防設備点検により非常用発電機が発電しないことが判明した。その結果、3/14に、体育施設については3/15以降の利用自粛を促し、4/1以降は利用停止することを決定した。児童館機能についても、3/15以降の利用を停止し、電話相談のみしばらく継続することとなった旨、報告した。

#### 〔委員長〕

文スポの緊急停止により、見直し版の文言を変更するのか。

#### 〔事務局〕

見直しの取組の最中に急きょ変更となったため、結果として、見直し版に記載した利用停止の計画が先んじた形となった。

見直し版の文言については変更しないが、今後の計画についてはスピード感をもってやっていきたい。

#### 〔委員〕

文スポは利用率の高い施設であったが、消防設備不備とのことで急きょ利用停止となった。見直し案では、代替施設などを決めていくということなので、これは計

画通り進めていくのか。

〔事務局〕

おっしゃる通りである。

〔委員〕

耐震不足から避難所の役割はなくなっているが、この地域の避難所の対策は必要なことだと思う。文スポの近くには大きな介護施設があるので、そういう所と提携して一時的な避難所として利用させてもらう考えはあるか。

〔事務局〕

同地域は大原中学校が避難所に指定されている。民間施設との連携については、アセット担当では考えを持っていないので、ご意見があった旨は担当に伝える。

なお補足だが、災害時の民間施設との連携については、議会でも質問があった。質問自体は、西袋地区などの公共施設がない地域への質問であったが、防災担当の考えでは「町会や自主防災組織が中心となって民間施設と連携を取るところは、市が協定などを支援している」旨の回答をしたところである。

〔委員長〕

斎場がないとのことだが、市民はどこを使っているのか。

〔事務局〕

葬儀を行う所はあるが、火葬場はない。近隣の草加市や三郷市を利用しているようである。

〔委員長〕

火葬場は、市が持つとなると設置場所や維持管理など、それはそれで難しい。

提出された意見は、運営委託など、なにか方策があると良いとの意見である。

〔事務局〕

市では葬祭の助成金制度を設け、一部補助しているところである。

〔委員長〕

本当に需要があって必要なら検討していくことになる。横浜市で、今ある斎場が古くなって建替えをするとなった時に、本当に妥当かどうかという議論に携わったが、なかなか大変だった。東京でも、遠くの斎場を使ったりして、大変だという話も聞く。

### (3) 諮問に対する答申について

アクションプランの見直しについて諮問したところであるが、先ほど見直し案について承認をいただいたので、答申書をいただきたい。今年度開催した推進委員会の中で寄せられたご意見をまとめ、キーワードを抽出した。そのキーワードの主旨に沿うよう、答申書の付帯意見として、事務局案を作成した。

答申書については、事前に送付しご覧いただき、本日の資料では委員長・副委員長の意見を踏まえ修正したものとなっている。

付帯意見にご意見いただき、原案をもって市長に答申することについて、承認を得た。

〔委員長〕

事前送付との変更点はどこか。私からの指摘事項は、付帯意見1と2の違いが分かるようにしてほしいことを伝えた。

〔委員〕

私の指摘事項としては、付帯意見1について、「コロナ禍でニーズが変化した」といった内容であったが、コロナ禍以前より変化があり対応が必要であり、コロナ禍でさらに加速したといった表現はどうかと伝えた。

付帯意見3について、民間活用だけでなく、市民協働の視点で、みんなで一緒にということ盛り込んだらどうかということ、付帯意見5について、暫定利用しながら間をつなぐような形の表現にしてはどうかと伝えた。

〔事務局〕

委員長からいただいた意見を反映したものを事前送付し、本日の資料は副委員長からご指摘していただいた点を修正したものを配布している。

〔委員〕

私たちは利用する側の側面からしか捉えていないが、一緒にという視点は大事なことだと思う。

〔委員〕

なにか不足があった時に、(市に対して)やってほしいと言うばかりでなく、一緒にやっていくと、より使いやすくなると思う。

〔委員〕

先日の地震やコロナ禍など、今の世の中の状況に応じたちょうどいいタイミングのテーマに携われてよかったと思う。市役所がこれから大きく変わっていくことや、過去の公共施設の見直しも、時を得ていて、ちょうどいいタイミングで、市民の賛同も得られやすい条件だったのではないかと思う。古くなってそのまま残されている施設についても、心配はあるが、市より「すぐにはできなくてもこういう方向で今後考えているんだ」という方向性が分かれば安心感があると、先日近所の人との会話で話ができた。自分自身、推進委員として参加できて良かったし、周りに伝えていければと思う。

インターネットの時代であるが、情報を得るという方法が“紙面を通して”という人がまだまだ多い。公共施設の使い方や意見等など、簡単に届けられる窓口があると良いと感じた。ネットもあるが、それに追いつかない人たちも大半であって、特に、八潮市・自分たちのふるさとを大事に考えてくれる年代、インターネットが不得手な方がそういう思いがたくさんあるだけに、そういう方たちの意見の拾いやすい行政にさらになってほしいと思う。

〔委員〕

暫定利用について文言が追加されたが、利用者がいないからといった理由で使っていないものがあるとしたら、民間のなにかやりたいと思っている人に貸し出すこともできると思う。建物が残っているが、耐震不足で使えないのか、単に利用価値がないからというところがあるが、もし使えるのであれば、壊すまでの間、暫定利用をしてもらって有効活用できるのではと思った。

〔委員長〕

東京都の供給公社の団地を取り壊すということで、入居者に出て行ってもらっているところだが、そうすると空き部屋になる。取り壊すまでの間、その空き部屋をシングルマザーに補助を出して貸出しを行ったところ、あっという間に埋まったと聞いている。取り壊しまで4年かかるとのことだが、やはりそういうニーズがあったということである。やりようによっては有効活用できるので、建物が使えるのであれば、一つの手である。

〔委員〕

多くの人に知ってもらうにはどうしたら良いか、という所だと思う。付帯意見の4つ

目の情報発信について、市の中でも連携してというところで、期待したい。

### 3 報告

#### (1)八幡図書館・公民館の大規模改修について

中長期保全計画に基づき行った八幡図書館・公民館の大規模改修がこのたび終了したので、写真を用いて報告した。3/26 には市民向け内覧会も開催される旨、報告した。

〔委員〕

リーフレットは仮とのことだが、紙面に階数の記載があるとわかりやすいと思う。

〔事務局〕

担当へ伝える。

〔委員長〕

利用料は上がったのか。

〔事務局〕

コマで言うと 100 円程度値上げした。

〔委員長〕

改修や修繕は細かいものはやっていたのか。

〔事務局〕

小さいものはあったが、ここまでのリニューアルは初である。

〔委員〕

もともと利用率は高いと思うが、更に多くの人に使ってもらえると良い。

〔委員長〕

図書館は情報化が進むといらなくなると言われていたが、市民からは需要が高まり使われるようになっている。こういう風になら変わって使い勝手が良くなり、行かれる方が増えると使われる施設になるのではないか。

### 4 答申

委員長から、推進委員会として了承された諮問に対する答申書を朗読のうえ、市長あてに提出した。(受領代理:副市長)

〔副市長〕

委員会から本プランに対する答申において5項目の付帯意見を示していただいた。

未だ収まらないコロナ禍において、制約が続いている市民活動での要望の変化を察知し、柔軟に対応すること。施設利用者からいただいた要望を市内全ての公共施設で共有し、対応するためのアイデアも共有すること。民間との連携によりサービスの質を上げること。利用率向上に向けて積極的に情報発信すること。周辺住民の方の不安を払しょくできるよう、財政に極力負担をかけない施設解体の方法を検討すること。などに注力し、市民の皆様にとっての暮らしやすさ、活動のしやすさの視点を重視し、豊かな市民生活が生まれるよう、より一層の力を入れて取り組んでいきたい。

八幡図書館・公民館の大規模改修を報告させていただいたが、引き続き大規模改修が必要な施設があるので、広く意見を伺ったうえで改修の内容に反映し、改修して良かったと評価していただける施設にしていきたい。

委員の皆様におかれましては、引き続き、本市のアセットマネジメントの取組に対するご教示を賜りますようお願いしたい。

## 5 閉会